

基本方針 ビジネスモデルの強化

重点戦略 貸出金収益・役務収益増強戦略

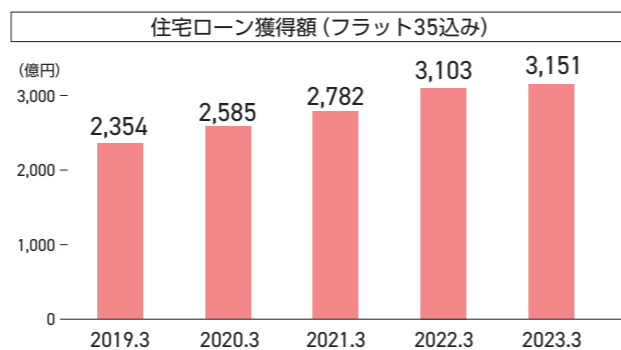
事業ポートフォリオの見直しを通じて、成長ドライバーである「個人向けローン業務」「預り資産業務」「法人コンサルティング業務」の3つの業務に経営資源を集中することで、ビジネスモデルの強化を図ります。

個人向けローン業務

住宅ローン

2022年度上期はパーソナルプラザの組織再編や人員の増員と合わせて、複数の拠点を新設しました。新設されたパーソナルプラザには、お客さまが快適にお手続きができるよう広々とした応接室、キッズルーム、授乳室などを備えたことで、特に子育て世代のお客さまから好評をいただいています。

それらの取組みがお客さま、住宅業者様に高く評価いただけた結果、2022年度の住宅ローン獲得額は過去最高額となりました。



お客様の声

新設のパーソナルプラザにてご契約いただいたお客様の声

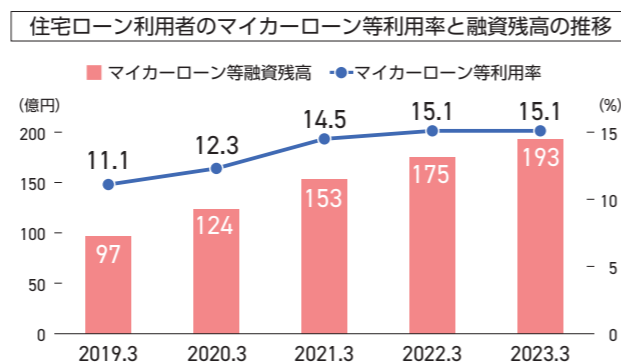
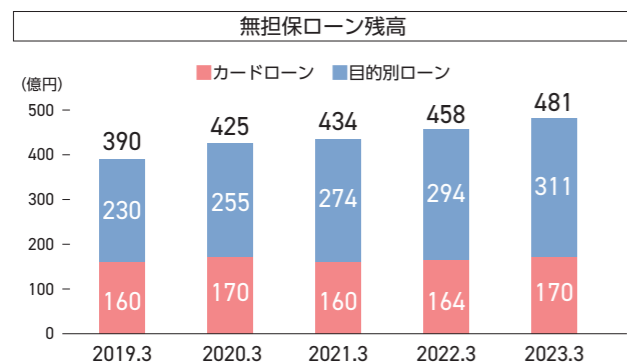
- 応接室が広々としていて子どもがいても安心して契約ができる
- 個室での面談となるため、人目を気にせず面談できる
- キッズルームがあって長時間の面談でも子どもが飽きずに居られる
- 授乳室があるので、おむつ替えも気にせずに行える



無担保ローン

2022年12月より、より多くのお客さまにご利用いただけることを目的として一部の無担保ローンについては、当行に口座を保有していない方でもWEB申込ができるようになりました。今後もお客さまの利便性向上に向けて取り組んでいきます。

また、住宅ローンをご利用のお客さまには、専用のお得なローンをご提案しています。保険の見直しなどと合わせ、ライフプラン全体の最適化を実現できるよう努めています。



預り資産業務

預り資産業務におけるお客さま本位の業務運営の実践

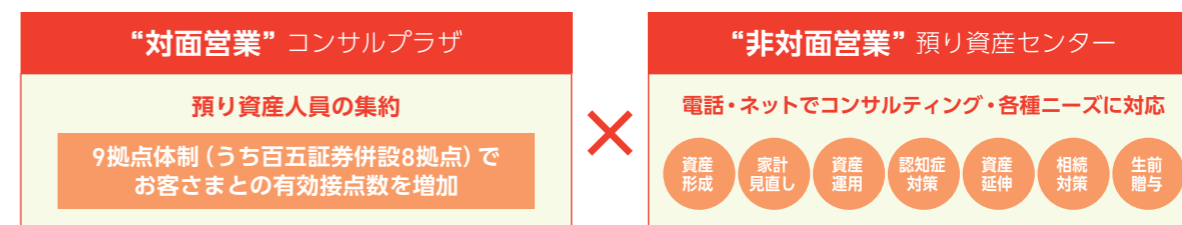
お客さま本位の業務運営 ～3つの約束～

- お客さまの資産形成に資するため、お客さま本位の業務運営を徹底します。
- 役職員は、お客さまの利益を最優先に金融商品をご提案します。
- お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組みます。

当行および百五証券では、お客さま本位の業務運営宣言において、3つの約束を掲げています。お客さまに最適な資産運用プランの提案を行うため、お客さまの知識・経験・財産の状

況・投資目的および受入可能なリスクの度合いの正確な把握に努め、商品やリスクの内容、手数料および市場動向などの情報をわかりやすく丁寧に説明しています。

また、当行ではお客さまの利益を最優先に質の高いコンサルティング、アフターフォローを実施しています。対面営業拠点である「コンサルプラザ」、非対面営業拠点である「預り資産センター」により、多くのお客さまにきめ細かいご提案ができるよう努めているほか、コンサルプラザと百五証券の拠点を併設したことで証券担当者と銀行担当者の連携を強化し、担当者のスキルレベルの向上を図っています。



最適な資産運用プランを提案
 お客さまのニーズ、ライフプランやリスクの許容度の把握を行えるよう、各種サービス・ツールを活用し、幅広い情報提供を行います

担当者の声

コンサルプラザでは、お客さまの将来に寄り添うコンサルティングを行うことを最優先し、業務に取り組んでいます。お客さまとの対話に時間をかけ、資産形成や資産承継の具体的な将来像をお客さまと共有し、最適な商品ポートフォリオを提案できるよう努めています。また、日々市場動向が変わるなかで、きめ細かいフォローに努め、お客さまの不安や疑問点を解消できるよう行動しています。コンサルプラザと百五証券が同一拠点となったことで証券担当者との交流が深まり、税制やマーケット知識など、専門性がより高まりました。今後もお客さまにとっての最善の利益が図られるよう研鑽に努めます。



四日市コンサルプラザ 係長 丸本 真樹

法人コンサルティング業務

地域に根差した信頼できるパートナーとして、お客さまの経営課題に応じたコンサルティングサービスを提供します。

コンサルティング機能の強化

お客さまを取り巻く環境は日々変化しており、特に人手不足、多様な働き方の実施、生産性の向上などの経営課題をデジタル化で解決したいというニーズは増加しています。2022年4月より、お客さまの経営課題解決のためにクラウドICTツールを活用したソリューション提案、導入・定着までを伴走支援するICTコンサルティング業務を開始しました。

具体的には、アナログ管理している売上情報や日報などを一元管理し、情報共有の効率化や見える化を図るなど、お客さまの経営課題をICTツールで解決する支援を行っています。また、関連会社である百五コンピュータソフトなどと連携して、より高度な課題の解決にも努めています。

	2022年(上期)	2022年(下期)	2023年度(見込)
支援件数	2	7	15

ビジネスマッチング

お客様の販路拡大や経営課題の支援など、地域のネットワークを活用したビジネスマッチングの推進に積極的に取り組んでいます。

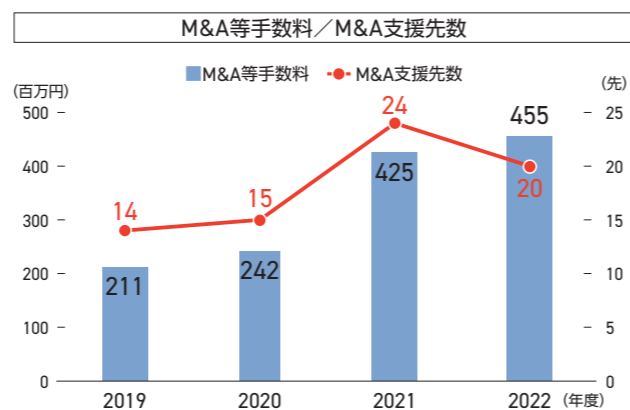
また、脱炭素などの社会課題への対応、DXの推進による生産性向上、新製品の開発、コスト削減などのさまざまな経営課題に対し、お客様のニーズに合致したビジネスパートナーをご紹介します、事業成長をサポートしています。

また、リース商品をソリューション営業メニューの一つとし、百五リースと連携することでリース案件の媒介・紹介も実施しています。銀行融資とリース商品の一体的な提案をおしお客様の実業成長と経営課題の解決に向けたサポートを行っています。今後も、お客様の課題解決につながるビジネスマッチングを推進し、お客様とともに持続可能な社会の実現をめざしていきます。

事業承継・M&Aへの取組み

事業承継に関するニーズは年々増加傾向にあり、親族内承継、従業員承継、投資ファンドを含む第三者承継など、承継方針も多様化しています。事業承継・M&A支援課に専任者10名を配置し、関連会社の百五みらい投資とも連携しながらお客様の希望する事業承継方針に沿って、ワンストップでサポートできる体制を構築しています。事業承継・M&Aに関するニーズの増加にともない、支援実績も増加しています。

事業承継コンサルティング件数				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業承継相談	18	33	41	51



ストラクチャードファイナンス

当行は、2002年にPFI事業向けプロジェクトファイナンスに初参画して以降、全国トップクラスとなる累計64件（うち主幹事行として35件）の取組み実績を誇っています。

また、事業の創出から終了まで当行グループ会社である百五総合研究所と連携を行っており、地方創生につながるPPP/PFI事業への取組みを強化しています。

グループ連携

- 百五銀行**
 - ・アレンジメント業務
 - ・ファイナンス業務
 - ・モニタリング業務
- 百五総合研究所**
 - ・ファイナンシャルアドバイザー業務
 - ・プロジェクトマネジメント支援業務



事業名 : 伊賀市新斎苑整備運営事業
 実施自治体 : 伊賀市
 実施事業者 : 株式会社伊賀芙蓉
 事業内容 : 市町村合併後の斎苑利用の増加と近年の高齢化社会の進行にともない増加した火葬需要に合わせ、施設を整備し、維持管理運営を行う事業

Topics

全国初! Park-PFI事業に対するソーシャルローンの取組み

2022年6月、当行は株式会社宝輪との間で、津市内のPark-PFI事業*1「中勢グリーンパーク官民連携事業」に対するソーシャルローン*2の契約を締結しました。Park-PFI事業を資金用途とする、第三者意見を取得したソーシャルローンの取組みは、全国で初めてとなります。「市民が誇りに思う、全世代の交流拠点となる公園」をコンセプトとした本事業では、津市の総合公園「中勢グリーンパーク」において民設民営のカフェレストラン等と公共施設の管理棟等が整備され、2023年4月、新エリアがオープンしました。また、

2023年3月、本取組みを通じた地域経済の活性化支援が、内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局より「令和4年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に選出され、内閣府特命担当大臣（地方創生）より表彰を受けました。



*1 Park-PFI事業とは、公園整備を行う事業者を公募により選定するものです。
 *2 ソーシャルローンとは、資金用途を社会課題解決プロジェクトに限定した融資のことです。

お客様の声

当社には「人の輪こそ宝なり」という言葉があります。従業員・取引先・地域、この三者が一体となることを大切に考えながら常にできることを何でもやってみようというチャレンジ精神で物流を主体に多角的な事業展開で成長してきた会社です。



株式会社宝輪 代表取締役社長 蕪竹理江氏

所在地 本社 三重県鈴鹿市国府町
 資本金 2,000万円
 事業内容 貨物自動車運送事業、構内物流事業、不動産賃貸業、商品事業、ガソリンスタンド事業

Q プロジェクトに参加したきっかけは?

当社津営業所の前の公園を管理してもらえないかと津市からの声かけがスタートでした。私自身もよく娘を連れて行っているこの公園は来園客が年々増えていると感じていましたが、日陰がなく、ベンチも少ない、居場所がない公園なんです。そんな時、津市と話を進めていくうちに、地域や公園を利用する人のためにもなり、私たちにとっては新規事業として新たな一歩になるのではと考えました。

Q この事業の社会的意義は何でしょうか?

今後、Park-PFIは当たり前前の事業になっていくと思います。公共サービスも市税や税金とか収支のことを考えると、収益目線を持った民間の力を活かすことには意味があると思います。

Q 今回、当行のソーシャルローンを選んでいた理由、また今後当行に期待することは何でしょうか?

何より私たちのことを考えてくださった、想像を超える提案が心に響きました。百五さんがすごいのは、提案から実

現までがものすごくスムーズだったこと。このプロジェクトが一つのカタチになって、さらにこの事業が受賞したことで私たちはPark-PFIに参加した企業ということで地域からより宝輪のことを知っていただくことができました。本事業は三者（地域・私たち・御行）にとって、一番いい形になったと思います。御行は地元を代表する企業ですので、このような事業以外にも常に一歩進んだご提案をいただけることを期待しています。



「中勢グリーンパーク官民連携事業」の詳細については、右のQRコードをご参照ください。
https://www.hyakugo.co.jp/news/pdf/20220606_01.pdf



海外事業展開に関する支援

お客様の海外への進出、海外での事業展開支援を行う専門部署として、日本国内には国際営業部国際ビジネス支援課、海外では駐在員事務所2拠点（上海、バンコク）を設置しています。

国際ビジネス支援課は海外駐在経験者を中心に構成しており、貿易取引や海外での資金調達など海外に関する幅広いご相談に対して、きめ細かなオーダーメイドのサポートを行っています。

支援事例 ー地域産品の輸出支援ー

2022年10月5日、農林水産品をはじめとする、魅力ある地域産品の輸出拡大をめざし、当行と同じく三重県に拠点を構える総合物流企業「日本トランスシティ株式会社」と合併にて「Local Design Mie株式会社」を設立しました。

社名の由来は「世界と地域をつなぎ、地域の未来、地域のあるべき姿をデザインする」との想いを込めており、地域産品の輸出のみならず、文化や自然を含む地域の魅力も一緒に海外に発信することを担います。

具体的には、①物流支援 ②販路開拓支援 ③輸出コンサルティングを通じて、海外マーケット調査から物流の設計を含む販路開拓支援、輸出計画の策定支援を行います。地域のお客様の輸出事業を後押しする機能を発揮し、組織や企業規模にとらわれず、輸出にこれから取り組むお客様、これまで輸出にトライするも切り口を見いだせないお客様と一緒に、地域産品の輸出拡大をめざします。



東紀州産品輸出促進セミナー

取引先への輸出支援